

科目名	疾病治療論 I (病理病態論・自己免疫機能障害)					DP4 DP6	看護高等課程		
学年	1年	分野	専門基礎 疾病の成り立ち	時間数	15時間	担当 教員	田淵 吉延 (10.5) 藤松 大輔 (2.5) 成瀬 育生 (2)		
科目 概要	看護の対象である患者は、病気および病的状態にある場合が多く、看護を行う際には患者の病態を十分に理解しておく必要がある。そこで、疾病を理解するために、疾病の原因とそれに対して人の体の中でどのようなことが起こっているのかを学ぶ。また、看護実践に生かすために免疫機能障害時の病態・症状・診断・治療について学ぶ。								
到達 目標	1. 疾病の原因、発生のしくみ、経過、転帰といった一連の過程を理解することができる。								
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員	
1~5	疾病の成り立ちを学ぶ		病理学の範囲、病理学総論と病理学各論				講義	田淵	
	病気の種類とその要因		「病気」の考え方、病気の種類とその要因						
	先天異常		先天異常の定義・分類・発生機序						
	退行性病変と進行性病変		退行性病変・進行性病変						
	腫瘍		腫瘍とは、腫瘍の種類						
6	炎症		炎症とは、炎症の分類				講義	成瀬	
7	循環障害		循環とは、循環障害、局所循環障害（基本的病態・特別な型）、水および電解質代謝異常 全身的な循環障害 循環障害による代表的な疾患				講義	藤松	
8	試験		(1時間)				試験		
評価 基準	田淵(70点)、成瀬(15点)、藤松(15点)の合計100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。								
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。								
教科書	看護学入門3 疾病の成り立ち 病理学総論 必要時、資料等は配布する。								
履修上の 注意点									